

菖蒲地区担当の柴崎です。

菖蒲町の上大崎地区で生産者の方にご協力をいただきながら試験栽培している、青パパイヤについてご紹介いたします。当組合が特産に向けて栽培している青パパイヤも、いよいよ4年目になりますが毎年の異常気象で栽培が安定しておりません。そこで何とかして栽培の確立がしたく、今年度も自ら苗を購入し実際に栽培してみました。

圃場面積 約120㎡（株間3m）・植え込み本数 24本

施肥・ベット作り： 4月29日 苦土石灰を全面散布

亜リン酸入りS P 048・エコレット808・化成肥料444

今年は基肥で3種類の肥料を1ベット毎に施肥し生育を見ってみました。1ベット6本植えて4ベット（黒マルチ+株元にワラ）で栽培。

定植日は苗が小さい事と天候等考慮いたしまして連休明けの5月11日に定植。圃場は昨年作付けした圃場で堆肥を施肥しなかったため若干、土が硬くなってしまいました。

追肥：今年は梅雨の長雨で液肥の追肥作業が出来なかった事に加え梅雨明けの猛暑続きで水不足となり生育が遅れてしまいました。初期成育では、各肥料ともに順調に生育したが、長雨後の8月上旬には肥料切れが見られた。3種類の基肥のうち、化成肥料444が1番肥料持ちが良かった。

結果、全面施肥で堆肥や土壌改良資材を入れ深く耕耘し柔らかい土づくりをして化成肥料を使う人は安価な水稲肥料でもお馴染みの化成肥料444が良いと思います。使用する方は、安価な化成肥料444を基肥にし適期に粒状等の追肥作業を行い水不足にも注意して適度に水もあげましょう。また、南彩管内では試作品種を各地区で試験栽培し、この地域に適した品種選定を行って安定した青パパイヤ栽培確立を目指しています。これからも、圃場の条件も重要ですが青パパイヤの栽培が確立できるよう邁進していきます。



7月14日



9月29日